

木造十一面観音立像

もくぞうじゅういちめんかんのりゅうぞう

市指定

所在地：河原町



彫法がやや粗いことと、頭部の腐朽が甚だしいことを除けば、ふくよかな姿態と優美な姿勢に平安時代の作風が色濃く残されている。

当観音立像は、古くは山岳修験の行場三岳にあったと言われ、宝樹院観音堂（東新町）を経て、現在の観音寺に移ってきた。

一木造。高さ104cm。